

# YATOかわら版

500年の  
Commonを  
考える



第1号 2019年9月

発行  
YATOプロジェクト事務局  
東京都町田市忠生2-5-3  
<https://yato500.net>

## 忠生のはなし

### 池に住む大蛇

話を聞いた人・東向山築田寺 住職 齋藤謹也さん

これは、現在も、築田寺の奥にある「龍王ヶ池」と呼ばれる大きな池のお話です。この池と八王子の長池（八王子市長池公園内）は、池の下でつながっているという伝説があります。

むかしむかし、お寺には大きな池があった、1匹の大蛇（龍）が住んでいました。池のまわりは、鬱蒼とした森で囲まれ、お堂は荒れはて、村人たちは怖がって誰も近づきませんでした。

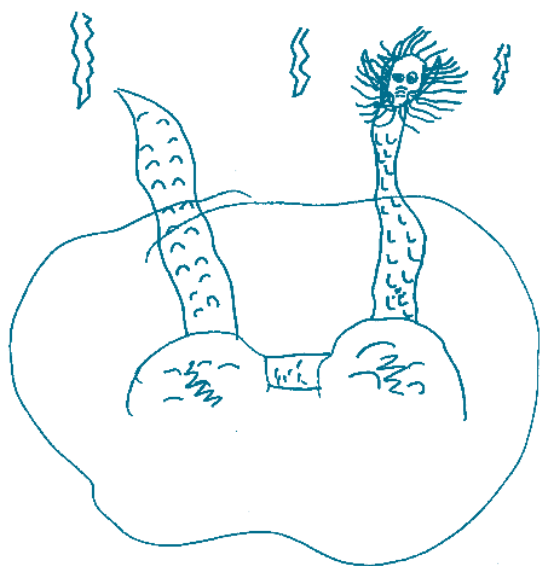
ある日、お寺の前を、最乗寺のお坊さんが通りかかったとき、村人たちは、「大蛇を他のところに行かせてほしい」と頼みました。お坊さんが池の近くに行くと、大蛇がおばあさんの姿になって出てきて、こう言いました。

「あなたが、お寺をきれいにしてください。そうしたら、私はここから出ていきます」そこで、お坊さんは、その土地を持っていた築田さんに、「私に再建させてほしい」とお願いをして、お寺をつくりなおすことになりました。池をきれいにして、人が訪れるようになったある日、大蛇は東の空に向かって飛んでいきました。

それから何百年も経って、再び荒れてしまった池をきれいにするとき、池を掘って、長い竹を入れてみたら、真ん中の一箇

「YATO」プロジェクトは、谷状の地形から「谷戸」とよばれる、忠生周辺地域のことを学び、500年先に生きる人たちにどう伝えていくかを考えるプロジェクトです。

所だけに、どんどん入っていったそうです。他のところは、ある程度まで入れると土が粘土質でかたいから入っていきません。つまり、その細長い空間に、大蛇が住んでいたのではないかといいことです。それを聞くと、伝説とよばれるものはそんなに間違っていないのだと思います。



絵：日美希

# わきゆせうろう

しゃしんぶん はたのしゅうへい  
写真・文：波田野州平

まちの妖精たち

みんなは「わき

めをふらずに（よ

そみ見をせずに）

歩きなさい」と怒

られたことはあり

ませんか？ でも、

キヨロキヨロしな

がら歩くと、いつ

もは見逃してしまふものに、ひよこつ

と出会えることがあります。今回紹介

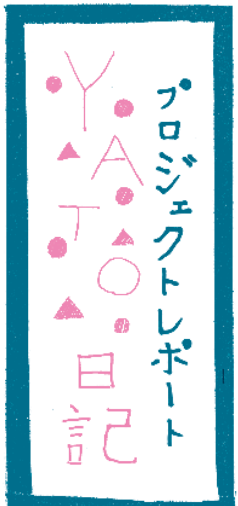
するのは、忠生に生息する妖精たち！



さいしよの妖精は、まがりかどでふと出会った、おちよぼくちのこの子。



次は、4人もかかえられるたのしい妖精さん。

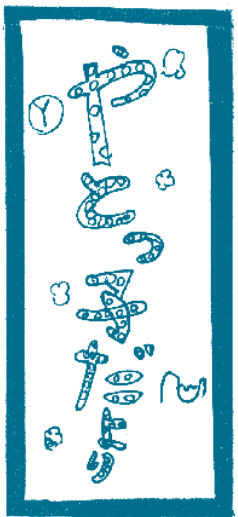


「YATOの縁日」で発表する、影絵をつくるワークショップを開催しました。表面で紹介した伝説をもとに、想像して、絵を描いて、紙を切つて、穴を開けて、組み合わせせて、光をあてて……。参加したみんなに感想を聞いてみました！

紙をまっすぐ切るのはいへんだけど、あまった紙で線をつくるやり方が見つけられて、おもしろかった！



じぶんがそうぞうしたことをぜんぶ影絵にできて、描くのがおそくてもおこらないでうけ入れてくれたのしかった。



忠生・町田周辺に暮らす、こどもチーム「やとつ子同盟」。アーティストや年長者といろんなものをつくりながら、忠生の歴史や文化に触れる、遊びと学びの場です。

9月23日（月・祝）15時～20時に、築田寺で開催するお祭り「YATOの縁日」では、音楽の演奏や、影絵の上演のほか、竹を使っておもちゃをつくるワークショップもあります。ぜひ一緒に遊びましょう。屋台もあるよ！

「やとつ子同盟」参加者募集中！  
秋や冬になったら、もちつき、やき芋のイベントや、映像について学ぶワークショップも開催する予定です。興味があったらぜひ参加してね！  
わしくは、ホームページ（<https://yato500.net>）をチェックしてください。

